



キュウリ編



病害虫注意報

2012年12月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



病害特集

いずれの病気も多発すると防除が困難なので、
予防散布を心がけましょう！！

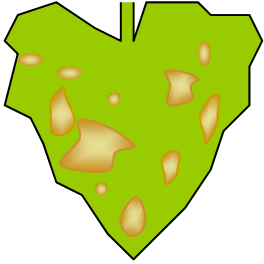


褐斑病

症状:
初め淡褐色、円形の小斑点を形成し、次第に拡大して中央灰褐色の不整形斑点になる。

発病適温:28℃前後

注意点:
高温期に施設内を多湿にすると急激に増加する。発病後の防除は困難なので、予防散布を心がける。

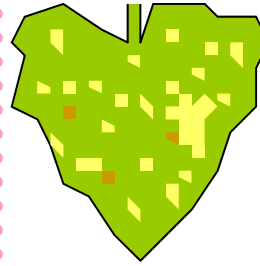


べと病

症状:葉脈に囲まれた角形で、初め水浸状、黄色の病斑を形成し、古くなると褐変する。

発病適温:20~24℃

注意点:曇雨天が続いたりして施設内が多湿気味だと急増する。肥料切れや樹勢が弱った時に多発しやすい。



アミスターオプティフロアブル1,000倍 (前日/4回) 展着剤注意 **治・予**

セイビアーフロアブル20 1,000倍 (前日/3回) **予**

ベルコート水和剤 2,000~4000倍 (前日/5回) **予**

ライメイフロアブル 2,000~4000倍 (前日/4回) **予**

ランマンフロアブル 1,000~2,000倍 (前日/4回) **予**

ホライズンドライフロアブル2,500倍 (前日/3回) **治・予**

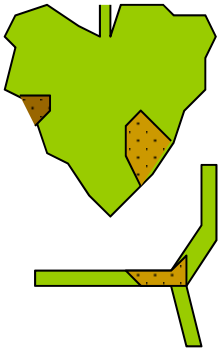
フォリオゴールド 800~1,000倍 (前日/3回) **治・予**

つる枯病

症状:
茎、葉、果実に発生するが、茎の被害が最も多い。病斑上に黒色小粒点を生ずるのが特徴。

発病適温:20~24℃

注意点:
施設内が多湿気味で、成り疲れ等で樹勢が弱った時に増加しやすい。薬剤がかかりにくい茎や地際部に発病しやすいので、茎や地際部まで薬剤がかかるように、丁寧な散布を心がける。

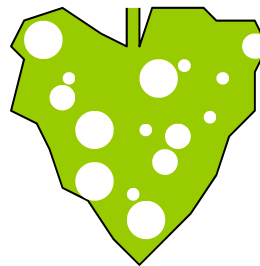


うどんこ病

症状:
葉にうどん粉をふりかけたように白い、粉状のカビを生ずる。

発病適温:25℃前後

注意点:
やや乾燥気味で、光線不足の時に発生が多い。



トップジンMペースト 原液塗布 (発病初期/5回) **治**

ロブラール水和剤 1,000倍 (前日/4回) **予**

スマレックス水和剤 1,000倍 (前日/6回) **治**

フルピカフロアブル 2,000~3,000倍 (前日/4回) **予**

パンチョTF顆粒水和剤 2,000倍 (前日/2回) **治・予**

ポリオキシシンAL水溶剤 5,000倍 (前日/2回) **治・予**

ストロビーフロアブル 3,000倍 (前日/3回) 展着剤注意 **予**

おすすめ資材

暖房機の準備の時に吹出口に設置しましょう！

置らくじゃん

★ 人体、環境に安全な天然成分です。
★ 2~4個/10a。

芳香性環境保護液 (成分: ニッキ・ユーカリ油)

